

平成26年度 大木町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

財政健全化判断比率の状況

比率名	平成26年度	早期健全化基準
1 実質赤字比率	—	15.00
2 連結実質赤字比率	—	20.00
3 実質公債費比率	7.5	25.00
4 実質将来負担比率	—	350.00

※財政健全化判断比率とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの財政指標を定めている。4指標とも数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は赤字額がないため算定していない。

実質公債費比率は前年度より0.5%低い。

実質将来負担金比率は将来にわたっての負担を収入が上回っているため算定しない。

いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を下回っている。

資金不足比率の状況

比率名	平成26年度	経営健全化基準
5 資金不足比率	—	20.00

※資金不足額は生じていないため比率は算出していない。

株式会社大木町健康づくり公社アクアス経営状況報告

- ・平成26年度の入館者数は、対前年比3%増(+5,857名)の20万1427名。平成27年3月期、1億3592万円余の売上げがあった。
- ・「くるるん液肥」を活用した平成25年産特別栽培米「環のめぐみ」玄米73トンは、10月までに完売。平成26年産より「元気つくし」に品種が変わり、11月より販売を開始した。
- ・「大木町農産物加工販売施設」では、団体によるデザートの開発・販売、年間をとおして親子で作る料理(デザート)教室などを実施した。
- ・まち歩き活性化事業では、大木町の自然・人・おもてなしで参加者との交流など大木町らしさが備わった季節に応じたウォーキングイベントを4回行った。

一般社団法人サスティナブルおおき経営状況報告

- ・おおき循環センターでは、生ゴミ収集状況は1188.3トン、メタン発酵消化液の活用は、面積87.7ヘクタール、散布量4725.7トン、菜の花プロジェクト(環のかおり販売)では961本を販売、液体廃油石鹸製造販売では10万8150円を売り上げた。また、道の駅おおきでは、20万9140人の来場者があった。
- ・環境プラザでは、リユース品販売等により、95万2739円を売り上げ、おもちゃクリニックでは16件の修理を完了した。

一般財団法人ひしのみ国際交流センター経営状況報告

- ・地域住民主体の国際交流等の推進を通じて、国際社会で活躍できる人材の育成を目的に、人材育成事業として「青少年ベトナム研修」、語学交流事業として「ひしのみ英会話教室・Englishサークル・ハングル講座・こども英会話教室」を実施した。